

東京から岩手へ。 移住して見えた、 森のいま。

岩手県花巻市に移住して2年目。地域の方々に学びながら一緒に里山保全に取り組むなかで、四季ごとに変わる森の姿や植物の力強さにふれ、自然への敬意を一層深めてきました。最初に教えていただいた言葉「遠くから見ると葉に覆われて見えないけど、近付くと人の手が入らず荒れている山や森の姿が見えてくるよ」。私の知らなかった森の「いま」の姿を、写真家GOTOKAKI氏の写真と「野の花司」の生花で銀座に立ち上げました。森の光や湿度、時間の流れまで感じられる場をぜひご体感ください。

花巻市地域おこし協力隊 但野理香

生花と写真展 感覚と実在のあい

「森の関」 モリノシキイ

